

バラバラにされればわたしたちは倒れる。団結すればわたしたちは立つ。

| | | |
|---|---|---|
| <p>〈これからの予定〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●7月20日(土) 女性セミナー 名古屋都市センター ●7月20日(土) 第4回常任委員会 | <p>愛知県職連合女性部しんぶん</p> <h1>あゆむ</h1>  | <p>第352号 (2024年6月)</p> <p>発行 県職連合女性部</p> <p>〒463-0016 名古屋市中村区竹橋町36-31 直通 052(433)7373 FAX 052(433)7393 FAXフリ-アクセス 0120(930)340</p> <p>http://www.aichikenshoku.gr.jp E-mail josei24@aichikenshoku.gr.jp</p> <p>発行責任者 井上 陽子</p> |
|---|---|---|

2024年度女性部役員学習会開催

新たなメンバーでスタート



女性部役員会議であいさつをする井上女性部長

女性部は5月24日に名古屋都市センターにおいて、女性部役員学習会を開催し、15名の本部・支部役員が参加しました。役員学習では、公務員を取り巻く情勢、女性部活動計画及び組合活動の進め方等について学習しました。

その後、支部役員から、職場の状況や支部の活動について意見交換をしました。

学習会の開催にあたり、井上女性部長から、組合活動について説明したのち、質疑応答で、皆さんの所属や支部活動での現状等を併せてお聞かせいただきました。

続いて、水野事務局長から、2024年活動計画の説明として、現在開催されている女性集会や7月の女性セミナー、秋に開催予定の女性レクの説明がありました。

「多くの女性組合員が参加していただけるよう、支部の女性役員からも声かけ等のご協力をいただきたい」としました。

女性部の取り組み等の説明後、早川副委員長からは、令和7年人事院勧告に向けての公務員を取り巻く情勢（給与制度のアップデート）と人事課が実施している職場環境の整備（選択的週休三日制）についてのアンケート

のアンケート結果について、支部活動では、新旧役員との交流ができた。女性部の支部活動は、情報のやり取りができる場であり、それが女性部役割だと感じている。ーなど意見がありました。

職場の状況と支部意見・質問等

その後、各支部から参加している支部役員から、一言づつ職場の状況や支部活動について発言してもらいました。

支部活動では、新旧役員との交流ができた。女性部の支部活動は、情報のやり取りができる場であり、それが女性部役割だと感じている。ーなど意見がありました。

| | | |
|--------------|--------------------------------|-------|
| 2024年度女性セミナー | | 参加費無料 |
| 家庭・職場・地域を守る | | 託児あり |
| 防災カUP講座 | | |
| 日時 | 2024年7月20日(土) 13時30分～15時30分 | |
| 場所 | 名古屋都市センター第1・第2会議室 | |
| 講師 | 出口志穂氏 (防災士、防災ママかきつばた所属) | |
| ※ | 詳細はチラシをご覧ください。 | |



副部長 羽場 愛
がんセンター病院

令和6年度の女性部副部長の羽場愛です。精一杯務めますのでよろしくお願いします

部長 井上 陽子
医務課・こころの健康推進室

女性部長2年目となりました。昨年度できていなかったことを踏まえて、今年度の役員の皆さんと協力して少しでも職場環境を改善する一助を担えれば幸いです。どうぞよろしくお願いします。



事務局長 水野 睦実
農業総合試験場

女性が安心して、働き続けることができるよう微力ながら皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

2024年度 本部役員紹介



私たちが本部常任委員です



常任委員 竹田 晴香
人権推進課

初めて組合活動ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

常任委員 矢頭 由実子
会計局調達課

微力ではありますが、組合員の皆様のお役に立てるよう頑張ります。



常任委員 飯坂 かおる
尾張建設事務所

組合員ハンドブック裏表紙にある「なんでも相談乗ります」は心強い。女性ならではのことで女性部は、皆さんからの相談に乗ったり必要とされるように努めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



常任委員 佐藤 沙也加
半田保健所

皆様のご意見を反映できるように努めてまいります。よろしくお願ひいたします。



常任委員 箱井 遥名
海部福祉相談センター

女性職員が安心して働ける職場づくりに貢献できるよう、頑張っていきたいと思ひます。

常任委員 榊原 梨央
東三河水道事務所

皆様のお役に立てるよう精一杯努力しますのでよろしくお願ひいたします。



常任委員 長澤 里美
豊田加茂農林水産事務所

微力ながら女性組合員の皆様のお役に立てるよう努めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

私の イテ押し

ウォーキングでよく眠る



皆さん、共済からお知らせされていますPEP UPの登録はお済みでしょうか。私は、令和6年3月に開催された「PEP UP 2024春のウォーキングラリー」を機に、PEP UPに登録、職場の方とチームを組み、ウォーキング企画に参加しました。自身の運動不足・体力低下が気になりつつ、何も行動に移すことなくいたところ、PEP UPのウォーキング企画を知りました。「20日間で16万歩達成すると、500円相当のポイントが貰える」と見て、歩いてポイ

ントが貰えて、体力づくりにも繋がるならと、非常に興味を引かれました。しかしながら、当時の1日平均歩数は5千歩程度で、1日約8千歩も頑張れるかなあ」と迷っていたところ、職場の方から「よかったら一緒に歩きましょう」と、声をかけて頂きました。誘って頂いたことが嬉しくて、絶対に達成しよう」と気合が入りました。その後、他の方にも声をかけてチームを作り、イベントに参加しました。イベント期間中は、朝の通勤を一駅前で降りて、職場まで歩くようにしました。10分程度の短い時間でしたが、朝のひんやりとした空気を吸って歩いていると、仕事前に気持ちのリフレッシュできてよかったです。また、外出先ではエレベーター等を控え、階段を使用するようにしました。ささやかな心掛けばかりですが、運動効果につながっていたのか、普段よりよく眠れるように感じました。



チームの方と「週末、頑張ったね」などと会話するのも楽しかったです。そして、20日間で個人合計16万歩を達成し、500円相当のポイントを獲得することができました。イベント終了後は気が抜けてしまいました。が、一日平均7300歩

意外と身近な万葉集の魅力

立夏を過ぎて至る所に見えた藤の花も終わり、色とりどりの紫陽花が咲き始める季節になりました。古来より人々に愛でられてきた花木に季節の移り変わりを感じられることが四季のある日本に暮らす大きな楽しみだと思えます。

さて、私は万葉集に詠まれた日本古来の植物を育てたり、ゆかりの地を巡ったりすることを趣味としています。万葉集というと、現在の元号「令和」の典拠となったことで一時話題になりましたが、私たちが暮らす愛知県も万葉集と深いかわりがあることをご存じでしょうか。

程度を推移しており、企画参加前に比べるとよく歩くことが習慣づけられたのではと思います。またウォーキング企画があれば参加しようと思えます。皆さんも一緒にいかがでしょうか。

佐藤 沙也加
半田保健所 総務企画課



万葉集巻三の高市黒人の歌「桜田へ鶴鳴き渡る年魚市潟（あゆちがた）潮干にけらし鶴鳴き渡る」に詠まれている、「あゆちがた」（現在の熱田区・南区の辺り）の「あゆち」が「あいち」に転じたと言われています。ほかにも豊川の御油の辺りや田原の伊良湖岬なども万葉集のゆかりの地と言われています。

また、私たちが日頃目に

する植物の中にも千年以上前から日本で愛されてきたものが多く存在します。春にはさくらやウメ、卯の花、桃、すみれ、山吹、藤などがみられ、5月ごろには愛知県の花でもあるカキツバタが見ごろを迎えます。夏には紫陽花や菖蒲、ツユクサ、つつじ、秋になるとキキョウ、ヒガンバナ、萩、あかね、葛、オミナエシなどの花々を目にすることができます。

万葉集の時代から約1300年が経った今、現代を生きる私たちがポップスの歌詞に共感するのと同じように古代の歌の歌詞にも共感できるのは、そこに喜び、憂い、悲しみなど、今の私たちが変わらない人々の心の有様が表現されているからであり、ここに万葉集の魅力があると私は思います。

このことは私たちの感性が少しずつ時代に合わせて変化しながらも、本質は変わらずに古代から連綿と受け継がれてきていることの表れなのではないかと思えます。

東三河水道事務所
榎原 梨央

マンモグラフィってなんで痛いのか

こんにちは。私は病院で診療放射線技師としてレントゲン撮影やCT検査をしています。その中でマンモグラフィ検査も担当しています。マンモグラフィ検査と聞くと「痛い検査よね？」というイメージを持たれている方が多いかと思います。そこで今回はマンモグラフィってなぜ痛いのかについてお話していこうと思います。

マンモグラフィ検査では、乳房を圧迫板と呼ばれる板で挟んで圧迫し、乳房をなるべく薄くして撮影をしています。この時にどうしても痛みが生じてしまいます。なぜわざわざ痛い思いをしてまで乳房を薄くするの？と疑問に思われる方もいらっしゃると思いますが、実は乳房を圧迫して薄くすることには様々な理由があります。

一つ目は乳がんを見つけやすくするためです。マンモグラフィの画像では乳腺と乳がんはとても似たような写り方をするので、乳腺の中に乳がんが隠れるように潜んでいることがあります。乳房を薄くすると



乳がんを重ねる乳腺が少なくなるので、乳がんを見つけやすくなるのです。二つ目は被ばく線量を減らすためです。レントゲン撮影をするときは、どうしても被ばくをしてしまいます。そして、小さくて薄いものを撮影するときよりも、大きくて分厚いものを撮影するときの方が被ばく線量は大きくなってしまいます。そこで、乳房を圧迫して薄くすることで少しでも被ばく線量が下がるようにしています。このほかにも、撮影中に動かないようにする、ボケた写真にならないようにするなど圧迫することにはたくさんの理由があるのです。

痛みを伴う大変な検査ですが、痛いには理由があるので毛嫌いせずを受けていただけたらと思います。早く技術が進歩して、圧迫しなくても撮影できる機械を作ってほしいものですね。



(がんセンター 羽場 愛)

皆さまこんにちは。年度が改まって約1か月が経ち、女性部の役員も異動で少し入れ替わりがありました。5月には、役員学習会を行い、夏に実施予定の女性セミナーの準備などを行っていきます。今年も、これまでの「生理休暇」の名称変更が行われまいや、適切な運用が行えているか、これからアンケート等実施し検証を行っていきたくと考えています。

また例年のことですが、10月頃予定されている人事課との意見交換会において、皆さんからの声を集約してお届けできるよう、分会内で都合なことが話合われたかをお願いします。

女性部ってどんなことをしているの？

寄せいただきました、よろしくお願ひします。連休明け、梅雨に向かって体調管理が難しい時期になります。お身体には気を付けてお過ごしください。



来年度の三役を募集しています

来年度三役をしてくださる方を継続的に探しています。もし少しでもご興味を持たれたら是非、組合本部までご連絡を！
(女性部長 井上陽子)